

2024年度 下関市立大学後援会総会（オンライン）審議結果報告書

開催日時：2024年6月29日（土）14:00～14:45

議題2. 2023年度決算について

賛成 230票、否決 1票 → 承認

議題3. 役員改選について

賛成 230票、否決 1票 → 承認

後援会会則第8条において、「会長・副会長は理事会が互選し、理事・監事は会員の中から互選する」と規定されている。

理事・監事の選出については、提案のとおり承認された。また、会長・副会長の選任については、理事会での審議の結果、役員名簿のとおり決定した。

- (1) 新理事として、会員の中から経済学科より2名、国際商学科より1名、公共マネジメント学科より1名、データサイエンス学部より1名が選出された。
- (2) 会長に、嶋田 年宏 氏（留任）が選任された。
- (3) 副会長に、藤井 智 氏（留任）と 松野 将彰 氏（新任）が選任された。
- (4) 監事に、横田 愛 氏（留任）と 白石 学 氏（新任）が選任された。

議題4. 2024年度予算（案）について

賛成 231票、否決 1票 → 承認

議題5. 後援会会則改正（案）について

賛成 227票、否決 3票 → 承認

議題6. 後援会援助規程改正（案）について

賛成 226票、否決 4票 → 承認

※その他

事務局より下記の内容を報告。

・暫定予算の執行について

4月から総会で予算の承認を受けるまでの間は、暫定予算に基づき執行しています。今後も総会までの期間は暫定予算執行が必要となるため、年度末に書面決議で理事会にてお諮りする予定です。

・後援会事務の大学への委託について

4月より後援会事務を大学事務局（学生支援課）に委託しています。また、後援会の情報は大学ホームページでご確認いただけます。

・総合大学化及びキャンパスの整備状況について

D棟は、2024年1月に完成し4月からデータサイエンス学部1期生88人が学習に励んでおり、グラウンドの部室は、老朽化により建替えられ6月から学生が新しい部室を利用しています。

プロムナードは、学生が憩える場として芝生広場や並木がありグラウンドオープンに向け整備が進んでいます。

※議案の回答での質疑応答について

事務局より下記の内容を回答。

・会費の減額改定と会費の差額に関する取扱いについて

経済学部単科の大学から理系を含む文理融合の総合大学になるため、支援体制を学部間で支援メニューに差が出ないように見直す必要がありました。2年生以上に対しては、負担感に差が出ないように、これまでの支援メニューをほぼ継続する予算となっています。

・後援会運営の効率化について

効率化を図る必要から、昨年度からオンラインによる総会や資料提供、情報発信に努めています。運営方法の変更など、今後決まり次第ご案内してまいります。

・施設整備事業に関する希望について

整備後のキャンパス利用状況について、学生や皆様の声も聴きながら、学生がより充実した学生生活を送れるよう支援を考えてまいりたいと思います。

・就職支援について

高い就職率を維持しており、これは大学のキャリアセンターをはじめとする学生へのサポートが充実していることも影響していると思われる。後援会としても効果的な支援を検討したいと思います。

以 上